

「公開山行実施マニュアル」

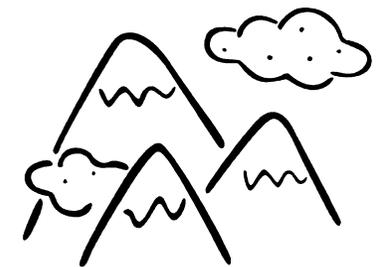


ふわく山の会 / マウンテン部

2022/11/23
M部運営委員

目次

- Step 1. スケジュール … 山行企画から山行実施までの流れ
- Step 2. 山行の企画 … 実施日、山域、ルート、人数、交通手段
- Step 3. 山行の承認 … 該当する山行部の承認方法
- Step 4. 会報原稿の作成 … 会報原稿の作成、会報部への提出
- Step 5. 会報掲載、応募 … 会員からの山行参加応募への対応
- Step 6. 計画書の作成 … 山行計画書の作成と配布
- Step 7. 山行前の準備 … 山行実施可否連絡、山行の準備
- Step 8. 山行当日の留意点 … 山行中の留意点
- Step 9. 山行後のやる事 … 山行報告書の提出等



Step1

スケジュール

(1) 日帰り山行（実施日が月の後半16日～31日）の場合



(2) 日帰り山行（実施日が月の前半1日～15日）の場合

(3) 泊付き山行の場合



(1) 山域・ルート・歩速を決める

- ①山域 … マウンテン部は「★1～2 ☆1～5」の山域・ルートより選択する
- ②ルート … ピストン、周回、縦走、定着がある
縦走の場合は交通手段が「公共交通機関」か「マイクロバス」になる
- ③歩速 … 「健脚／普通／ゆっくり」の設定で応募する会員のレベルを限定することが出来る
- ④計画 … 集合場所、集合・入山・下山・解散までの大まかなタイムスケジュールを決める

(2) 実施日を決める

- ①休日or平日 … 多くの会員が休みの土曜日か日曜日が望ましい(祝祭日は仕事の会員も多い)
あえて応募人数を絞りたい場合は平日の設定も
人気の山小屋(阿曾原温泉、等)の予約は平日の方が容易にとれる
- ②季節 … 春＝残雪の有無、梅雨＝雨の可能性大、夏＝午後の落雷、熱中症、山ヒル、
晩秋＝日没時間、冬＝降雪、積雪、等の考慮が必要となる
- ③自粛・禁止 … 会の定める山行自粛日、禁止日はNGなので確認すること
※規定類集P14「特定日の山行自粛に関する規程」

(3) 募集人数を決める

- ① 2 ~ 5名 … マイカー1台で動けて、山行中の統率も容易なので新人CLさんはここから
- ② 6 ~ 10名 … 1名のリーダーで統率できるのは10名位まででパーティ登山はこの辺りが限界
- ③ 11 ~ 15名 … CLを担うことのできるレベルのSLが1名必要となる
- ④ 16名 ~ … 小集団(班)を編成しそれぞれCLレベルのSLを配置し行動する
CL(自分)は小集団(班)に入らず全体を見る

(4) 交通手段を決める

- ① 公共交通機関 … 電車だけで成立する山域が少なくタクシー利用が必要だと割高になる
本数の少ない路線だと下山時間への配慮も必要となる
募集人員の上限がなく、渋滞の心配もない
- ② マイカー … 自分以外に車出しをお願いできる参加者が必要となる
- ③ レンタカー … 10人乗りワゴンまで人数に応じて選択ができ、マイカーとは違い
反省会も実施可能だが、マイカーと比較し割高になる
- ④ マイクロバス … 入山、下山場所が自由に設定できるが、費用を考慮すると
20名程度の参加者が前提となる

(5) 参加費用を算出する

- ①交通費 … ○公共交通機関 = 各鉄道の運賃を調べ、1人当り参加費用を算出する
(名鉄/休日割引、近鉄39切符等の休日や団体割引もある)
- マイクロバス = 青山さんに登山口を連絡し見積ってもらい参加費用を算出する
(青山さん連絡先=090-2341-8150)
- マイカー = 走行距離・高速料金・駐車場料金を調べ、走行距離からガソリン代(距離×@単価÷燃費)、運転謝礼、車両謝礼を算出する。
※規定類集 (P23 「山行時の乗用車等の利用に関する規程」)
- レンタカー = マイカーの費用に加えレンタカー費用を調べる
(ジャパンレンタカー名駅北店=052-533-2300)

[車両謝礼]

提供車両	車両借用謝礼金額
自家用乗用車	@15円×走行距離km
自家用ワゴン車	@20円×走行距離km

[運転謝礼]

提供車両	400km以内	401～500km	500km以上
自家用乗用車	15円/km	10円/km	10円/km
自家用ワゴン車	20円/km	15円/km	15円/km
レンタルワゴン車	20円/km	15円/km	15円/km

(5) 参加費用を算出する

②宿泊費用 … 山小屋、バンガロー、テント場、他宿泊施設の利用料

③部費 … 100円/参加者1人 (山行後に山行部のゆうちょ口座に振り込む)

※ マウンテン部部費振込先

(記号番号)00850-6-111085 (加入者)ふわく山の会マウンテン部

通信欄に「山行名」「山行日」「参加人数」「CL会員No.と名前」を記入すること

④事務費 … (日帰り)100円/参加者1人 (泊付き)200円/1人

⑤ロープ代 … ロープを使用する場合は500円/1本

⑥食料ガス缶 … ヤマメシ山行の様な共同食をする場合は食費やガス缶の費用

⑦その他 … ロープウェイ代やリフト代、下山後入浴する場合は温泉代

(1) 公開山行予定表を山行担当者へ送る

山行の企画が出来たら「公開山行予定表」を作成しリーダー会までに山行担当者へメール添付して送る
 ※山行担当:324|水野さん e-mail:mkeikaku2017@yahoo.co.jp

(2) リーダー会にて承認を得る

リーダー会に出席して山行の承認を得る

※M部リーダー会

[5月会]9~11月 [8月会]12~2月 [11月会]3~8月 [2月会]6~8月

リーダー会には必ず出席すること

(3) リーダー会後に承認について

直接マウンテン部長に連絡して承認を得る

※M部部長:3334井川さん

(4) 承認を得たらマイクロバス、レンタカー、宿泊施設、等の予約をする

公開山行予定表 (2022年8~11月号)

2022年6月27日作成

山行予定日	山域・山名・コース	宿泊	歩速	ランク		CL		SL		コメント
				★	☆	No.	名前	No.	名前	
9/17(土)~18(日)	赤岳・横岳・硫黄岳 [マウントシリーズ] a. 美濃戸 b. 硫黄岳~横岳~赤岳を周回 c. メインルート d. 〃	〃	健脚	2	4	3225	家崎 博範	〃	〃	定員14名 赤岳鉦衆に専営 レンタルワゴン
9/23(金)~24(土)	鳳凰三山・高嶺 [マウントシリーズ] a. 夜叉神峠 b. 南御室小屋~鳳凰三山~高嶺~広河原 c. 〃	〃	健脚	1	4	3225	家崎 博範	〃	〃	定員7名 南御室小屋に専営 レンタルワゴン
10/1(土)~3(月)	燧ヶ岳・至仏山 [マウントシリーズ] a. 鳩待峠 b. 見晴新道 c. 〃	〃	健脚	1	4	3225	家崎 博範	〃	〃	定員14名 山ノ島に専営 レンタルワゴン
11/19(土)	小秀山 [45周年]	〃	健	2	4	3225	家崎 博範	〃	〃	定員7名

山名だけでなく登山ルートが分かるように記入してください。
 a.登山口・下山口
 b.ルート名(登り・下り・ピストン)
 c.メインルート・サブルート(難易度ではなく主に歩かれているルートかどうか)
 d.その他 山の標高を記入

公開山行の制限(会) M部制限
 総会開催日:禁止 新年初詣山行日(1月)
 春の清掃山行日:禁止 春の親睦山行日(5月)
 秋の清掃山行日:自粛 (2016年度内規より)
 〃(祭):禁止
 夏山期間、例会日:要注意(2019年度規程類集より)

(1) 会報原稿の作成

○会報原稿は規定の書式・様式で作成する

※規定類集P44「会報原稿作成・投稿に関する規程」

書式は、HPのライブラリー⇒会報誌投稿用書式⇒山行原稿投稿用をDLする

1行目 同名の山は沢山ありますので山域の記入、表題の山名には標高を書き添える

3行目 1/2.5万の地図名の記入

時間は24時間表記、定員は自分も含めての人数、CL会員番号フルネーム、SLも同様

山行申込で山岳保険/メールアドレス/携帯電話番号も併せて連絡もらうと手間が省ける

M 綿向山 (鈴鹿 12Mt シリーズ×ヤマメシ)
1,110m

★☆☆(普通)

地図: 1/2.5万 日野東部

と き: 12月4日(日) 雨天中止

集 合: 7時00分 名古屋駅大名古屋ビルディング前

コース: 名古屋 7:00⇒(大安 IC)⇒9:00 御幸橋駐車場 9:15⇒9:37 ヒミズ谷出合小屋⇒10:55 あざみ小屋⇒13:00 綿向山(ヤマメシ1H)14:00⇒15:30 あざみ小屋⇒16:30 ヒミズ谷出合小屋⇒17:00 御幸橋駐車場⇒19:00 名古屋

参加費: 約3,000円 定員: 10名くらい(公共交通機関) 締切: 定員になり次第

申 込: CL 3225 家崎博範 3225iesaki@gmail.com

コメント: 山頂付近で各自それぞれ自由にホットサンドを作ります。道具が無くても参加可能ですが、材料(食パンと具材)は各自持参して下さい。お申込みの際は、携帯電話番号、山岳保険をお知らせ下さい。

(2) 会報原稿を会報部へ送付する

① 提出期日: 会報発行月の前月の第1土曜日19:00

② 提出先 : 会報部専用 fuwaku_kaiho@yahoo.co.jp

件名: 山名/CL名/予定日

※詳細は会報の最後のページ参照

(3) 会報部受領確認

○ 会報締切り後会報部からの受領メールを確認すること

会報原稿 提出期限

会報部

・2022年12月号

・提出期限・・・2022年11月5日(土)19時まで

・掲載期日範囲: 日帰山行・・・2022年12月16日～2023年1月15日
泊付き山行・・・2023年1月1日～1月31日

・2023年1月号

・提出期間・・・2022年11月15日(火)～12月3日(土)19時まで

・掲載期日範囲: 日帰山行・・・2023年1月16日～2月15日
泊付き山行・・・2023年2月1日～2月28日

- ・原稿は「規程類集 p44～p45」の「会報原稿作成・投稿に関する規程」に従い作成して下さい。
- ・特例措置として交通機関、宿泊等の関係で上記日程以降の山行計画を掲載希望する場合は、事前に会報部(久保まで)にご連絡下さい。諸会合・活動案内もこれに準じます。
- ・Eメールは、会報部専用アドレス fuwaku_kaiho@yahoo.co.jp に送信して下さい。
- ・会報原稿のメール送信は、1メール1原稿として下さい。
- ・山行原稿のメール送信の際、件名に「山名」「CL名」「予定日」を記載して下さい。
- ・山行原稿提出に関して不明な方は、2568 久保晴美までお尋ね下さい。
090-7032-8066(SMS可) haru.kubo12@mediacat.ne.jp
- ・さんがく原稿については、編集の都合上、翌月以降の掲載とさせていただきます。

(1) 参加受付

- ① 第一木曜日20:00より受付開始でそれ以前の応募連絡は受付けない
※P12~13「山行参加申込規程」と会報の「山行参加の申込方法」による
- ② 受付したかどうか、参加可能かどうかは出来るだけ早く(24H以内に)返信する
(参加できない場合は早く他の公開山行へ申込したい為)
- ③ 募集定員を超える応募への対応=メンバー選定
公開山行はツアー山行ではない
どのようにメンバー選定するかはリーダーの裁量で決まりはない
 - ・ 先着順/番号の新しい順/過去一緒に行ったことのある人優先/等、決め方は自由
 - ・ 該当する山行に力量不足の人は先輩だろうが断ること
 - ・ パーティの雰囲気悪くする/リーダーの指示に従わないと予測される人は断ること

新人=番号の新しい人は勝手がわからないので優しく丁寧に対応してあげてください

(1) 山行計画書の作成

① 書式；HPのライブラリー⇒計画書・報告書⇒計画書・報告書一括ファイルをダウンロードする
※日帰り：様式2「規定類集P32」泊付き：様式1「規定類集P31」

② 作成の注意点

- ・ 山名：同名の山が存在することがあるので山域も記載する
- ・ 概念図：登山する山域のルートが分かり易く、行動予定が分かり易いように描く
- ・ 費用：交通費、部費、事務費などできるだけ内訳を記入する
- ・ 参加者：会員番号順に記載する
- ・ 留守本部：その日、山行に行かない会員にお願いする(見つからない場合はM部部長へ連絡する)
- ・ 装備：出来るだけ詳細を計画書に記載し、必要な装備や不要な装備を分かるようにする
共同装備は誰が持参するかを明確に記載し抜け重複の無いようにする

(2) 提出・配布

① 会へは提出期限までにメールにて提出する fuwaku@outlook.com 件名にマウンテン計画書を記載する
※規定類集P10「山行呼称とその内容」P19「山行計画書の再提出」参照

② 山行メンバーにも上記と同時に山行計画書をメール配布する
中止の判断のタイミングや集合場所と時間の念押しを改めてメンバーに連絡する
キャンセル料が発生する場合はその旨も連絡する
※規定類集 P13「申込後の取消」参照

(1) 下見山行

初見の場合は出来るだけ下見山行を実施して危険個所や休憩適地の確認をすること

※規定類集P19「下見山行」

(2) 情報収集

- ① ネット情報：YAMAP (<https://yamap.com/>) ヤマレコ (<https://www.yamareco.com/>)等
直近の山行記録を確認し登山道の様子、積雪の有無、登山口の駐車場の混み具合、等を確認する
- ② 観光協会、地元役場、山小屋に電話で確認する

(3) 天気予報の確認

山行実施数日前から天気予報を確認する

山の天気予報(ヤマテン <https://i.yamatenki.co.jp/>)推奨

(4) 地形図と山行詳細スケジュールの再確認

危険個所、トイレ、休憩場所、撤退リミット、等

(1) 山行開始前

- ① 自己紹介、体調・家族への連絡・装備類の確認、体操、等を行う
- ② スケジュール(トイレの場所、休憩のタイミング、登頂予定時間、下山予定時間)の共有
- ③ 歩行順の決定：自信のない方は前の方に配置する
※ 規定類集P19~22「リーダーの手引き」参照

(2) 山行中

- ① 歩き始め1時間はゆっくりペースで
- ② 衣服調整はメンバーの様子を見て省略しても良い
- ③ 休憩は「立休憩」「小休止」「大休止」を明確にメンバーに伝える
休憩中にパーティに馴染んでいないメンバーに声掛けをする
- ④ 遅れが目立つメンバーがいる場合は歩行順を変更して二番目に配置換えをする
- ⑤ すれ違い、追い越し、頭上注意、浮石、等は大きな声で明確に伝える
- ⑥ 危険箇所通過以外はお喋りOK！楽しい山行になるよう配慮する
- ⑦ 下山時は特に転倒等の注意喚起を都度々実施する

(3) 下山後

- ① 山行の総括と怪我の有無を確認する
- ② 留守本部へ下山連絡する
※ 規定類集P22「下山連絡と山行報告」参照

(1) 山行報告書の作成と提出

- ① 提出期限：山行実施後 10 日以内
※様式3「規定類集P33」
- ② 出来るだけ詳細に山行中の気づきやヒヤリハットを記載する

(2) 部費の振り込み

部費(100円/1人) を振り込む 複数の公開山行分を同時に振り込んでも可

※ マウンテン部部費振込先

(記号番号)00850-6-111085 (加入者)ふわく山の会マウンテン部

通信欄に「山行名」「山行日」「参加人数」「CL会員No.と名前」を記入すること

(3) 山行の写真の共有

山行中に撮影した写真や動画をパーティメンバーで共有する

- ・ ライングループを作成してアルバムを作る
- ・ Google Photo で共有する

マウンテン部より新人リーダー様へ

公開山行のCLって、会報原稿の作成やら募集やら山行計画書やら山行報告書やら・・・色々大変なんじゃないですか？とお思いかと思いますが・・・

はい。大変です。

面倒臭いです。

募集開始日には、誰も募集がなかったらどうしよ、とびくびくします。

逆に応募が多すぎるとお断りの返信の文章に悩みます。

責任も重大です。

参加者が怪我したら叩かれます。

ツアー山行と勘違いした参加者からは意味不明なクレームもあります。

でも・・・

それでも・・・

一度公開山行のCLやってみてください。

得られる経験値は計り知れません。

山の實力は、公開山行のCLをやる事によりありえないくらい身に付きます。

誰も公開山行のCLをやらなければ、ふわく山の会も終わっちゃいますからね。